

第3回 異分野融合研究ミーティングについてのお知らせ

第3回のテーマは「構造生物学」です。新学術では、構造生物学による植物の生殖の理解をメインテーマの一つとしており、総括班では、そのための支援を行っています。

今回は、この分野をリードする先生に構造解析に関するブレークスルーテクノロジーをご紹介いただくとともに、総括班における支援内容についてご説明します。

開催日 2018年3月7日（水）午後～3月8日（木）午前

3月7日（水）13時～

場所 名古屋大学 ITbM 1階レクチャールーム

13:00 受付開始

13:30 挨拶 上口（田中）美弥子 （座長 渡辺 信久）

「タンパク質を作る」

13:45 澤崎 達也 （愛媛大学プロテオサイエンスセンター）

小麦胚芽無細胞タンパク合成システム・抗体を利用した結晶化

14:10 宮川 拓也 （東京大学）

高圧リフォールディング技術・融合タグを利用した結晶化

「溶液でも構造解析ができる！」

14:35 岩崎 憲治 （大阪大学蛋白質研究所）

ハイエンドクライオ電子顕微鏡施設とその利用

15:00 コーヒーブレイク（ポスター準備）

「構造をこえて」

（座長 澤崎 達也）

15:25 桜庭 俊 （東京大学）

ホモロジーモデリングと MD シミュレーション

15:50 児嶋 長次郎 （横浜国立大学）

機能構造に基づく化合物スクリーニング技術

「構造解析支援」

16:15 渡辺 信久 （名古屋大学シンクロトロン光研究センター）

総括班における構造解析支援について/あいちシンクロトロン光センターと名古屋大学ビームライン

16:40 渡辺 正夫 新学術領域研究「植物新種誕生の原理」における共同研究体制について

16:50 ポスター準備

17:00 ミキサーならびにポスターセッション

19:00 終了

3月8日（木）午前 9時30分 名古屋大学 ITbM 1階レクチャールーム前集合

あいちシンクロトロンツアー 渡辺 信久 （名古屋大学シンクロトロン光研究センター）

* あいちシンクロトロン光センターへは公共の交通機関で移動します。

地下鉄：名古屋大学駅乗車 → 東山線藤が丘で乗り換え → 愛知高速交通リニモ：陶磁資料館南駅下車